

# 令和4年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（明徳幼稚園）

## 教育目標

心豊かに充実した日々を送ることのできる子どもの育成  
～「自ら学ぶ力」「自ら律する力」を育成する～

## 年度末の最終評価

自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価		
最終評価		

## （1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

### 具体的な取組

- ・友達や異年齢とのつながりが生まれることを願って場をつくりたり、様々な試しが生まれるような用具（足場付き板など）を手に取りやすいように置いて置いたりなど、園庭環境を見直し、つながりや対話が生まれるような環境をつくる。
- ・その場に関わっていない子どもも興味をもつききっかけになるように、ICTを用いて、クラスや時には学年を越えて共有する機会を設ける。

### （取組結果を検証する）各種指標

○記録、事例研究による子どもの変容、週案の反省・評価、教育課程の見直し

○アンケート項目「子どもは、自分でしたい遊びを見つけて楽しんでいる」「子どもは、園内の自然環境を遊びに取り入れて楽しんでいる」

## 中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

## (2) 幼小連携・接続に関して

具体的な取組	
・幼稚園での具体的な生活や遊びの姿（毎月の「子どもの姿」の中から抜粋して）を通して、幼児理解や教師の意図的・計画的な環境構成や援助などの幼稚園教育の発信をする。その際には「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点を活用する）	
・入学前の5歳児一人一人の姿を、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用し、幼児の成長や教師の意図や援助などを伝え、円滑な接続を図る。	
(取組結果を検証する) 各種指標	
○ 近隣の小学校へ発信した幼稚園通信での反応、可能ならば小学校の授業参観・研究授業の参観	
○ 保幼小連携会議への参加	
○ 読書ノート「親子で絵本！」の活用度を定期的に点検、把握、改善	

## 中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

### (3) 預かり保育について

具体的な取組	
・担任と預かり保育担当教員が心身の状態について引継ぎ、緊密に連携をとる。	
・時期や季節に応じた玩具や遊びの環境を整え、子どもが安心して、ゆったりとした気持ちで充実して過ごすことができるようとする。	
・早朝預かり保育での環境構成の在り方について担当教員と連携しながら充実を図っていく。また制度の地域への周知を図る。	
(取組結果を検証する) 各種指標	
○預かり保育参加人数	
○預かり保育の中での子どもの姿や教師のかかわり。	
○アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など	

## 中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

## (4) 子育ての支援に関して

具体的な取組	
・他学年の子どもと触れ合うことで安心して過ごしたり、刺激をもらったりしながら生活や遊びが充実できるよう異学年の交流を大切にする。	
・未就園児クラスと在園児クラスとのような連携ができるか話し合い、教職員間で連携をとる。	
・教師は、保護者の子育てに対する不安や悩みなどを丁寧に受け止め、共に具体策を考え、保護者の安心につなげる。	
(取組結果を検証する) 各種指標	
○子育て支援事業への登録、参加人数の推移。	
○子育て支援の取り組みの回数や参加人数、教育相談件数。	
○保護者の意見。	

## 中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## (5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）について

具体的な取組	
・地域の自然を生かした取組を継続し、京都岩倉自然学習アドバイザーや畠の先生などの協力を得て、子どもの育ちや研究に生かすと共に、地域社会への愛着や大人への信頼感を築いていくようになる。また、地域と連携した教育の中で育まれる資質・能力について発信する。	・学校運営協議会「どんぐりーず」、PTA、おやじの会と連携し、保育の充実に生かす。
(取組結果を検証する) 各種指標	
○地域との交流の内容や回数。運営協議会理事、PTA、地域の方の意見	○京都岩倉自然学習アドバイザーのお力による取り組みの充実と、子どもの変容、研究の充実。
○アンケート項目「学校運営協議会「どんぐりーず」」と参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」「学校運営協議会「どんぐりーず」」に子どもたちも親しみをもっている。」など	

## 中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

## (6) 教職員の働き方改革について

重点目標
○ 教職員の業務内容・勤務時間を意識し、改善点を明らかにし、校務支援員を有効活用しながら、働き方改革を推進する。
具体的な取組
・校務支援員を活用しながら仕事の効率化を図り、働き方改革を推進し、教育の充実、教職員の健康保持増進を図る。 ・会議の精選・効率化、ペーパーレス化、行事の内容や業務の分担の見直しと効率化、超過勤務の短縮。 ・電話対応時間を18時までとする。 ・水曜日をノー残業デーに設定し、実現する。
(取組結果を検証する) 各種指標
○校務支援員の活用により改善できた業務内容。 ○教職員の勤務時間の実態把握や年休取得率。

## 中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	